

訓点語学会

第一二八回研究発表会

◇日時 令和五年五月十四日（日）午後一時～午後六時

◇会場 ZOOMを使用したオンライン開催

○研究発表

一、漢文助動詞「須」の受容について

王 心臻

二、漢語疊語「叱叱」小考

―『菅家文草』巻一における校異と「吒」の字体

中山 大輔

三、『箋注和名類聚抄』に指摘される『本草和名』の誤り

武 倩

四、日本漢文における「和習」概念の問題点

田中 草大

五、『朗詠要抄』と『和漢朗詠集』鎌倉期加点本の

加藤 大鶴

去声字のふるまい

―資料横断的な漢字音・漢語音

データベースとの比較から―

六、成簣堂文庫蔵周礼鄭注の「伝来」の再考

小助川貞次

○総会・会務報告

〒六〇六一八五〇一

京都市左京区吉田本町

京都大学文学部国語学国文学研究室内

訓点語学会